



皆で進める北千葉道路の道づくり

北千葉道路（一般国道464号）は現在、事業化されている印西市若荻から成田市大山までの13.5km区間の開通を目指して整備を進めています。

北千葉道路が整備されることにより、首都圏北部や県西地域と成田国際空港間のアクセス強化が図られるとともに、沿線地域相互の交流と連携の促進、物流の効率化など地域の活性化に寄与します。

北千葉道路は、地域の皆さんの協力を得ながら進めています。将来の地域づくりを担う子どもたちとの交流を図りながら世代を超えた夢の実現のために子どもたちが道路建設の現場を見学したり、地域の自然環境を学んだり、着々と進む北千葉道路の状況を見つめています。

地域に密着した事業の推進



地元の土地改良区の方々と現地立会や意見交換を行い、事業を進めています。

日本大学の学生が見学！

日本大学理工学部社会交通工学科の1年生約180人が北千葉道路の建設工事を見学しました。雨にもかかわらず、熱心に事業区間起点部、印旛沼渡河橋などの工事内容の詳細な説明を受けていました。



中央大学の国際シンポジウムで視察！

中央大学理工学部主催の第1回水環境に関する国際シンポジウムが平成25年3月21日に印旛沼をフィールドにして開催され、海外からの研究者、学生を含め約40名が、北千葉道路のヨシ原及び工事現場を視察しました。



平成24年6月 印西市立いには野小学校の見学



平成24年7月 成田市立八生小学校の見学



印旛沼の素晴らしい自然を学ぶとともに地域に愛される北千葉道路づくりを行うために、平成20年度から「北千葉道路子ども会議」を開催しています。この会議は、北千葉道路の工事現場や印旛沼の自然環境にふれながら地域や印旛沼の将来の姿を考え、話し合うワークショップなどの活動を行っています。平成24年度は、印西市立いには野小学校の4年生と成田市立八生小学校の4年生が参加しました。

子ども会議 こどもかいぎ



水温調査



魚を放見

平成24年10月の活動



平成25年1月の活動



学習発表会



気温調査



学習発表会

平成24年2月



北千葉道路の写真を撮る

道路工事に興味を持つ

いには野小学校の4年生は、平成24年度も北千葉道路の工事を見学しました。子どもたちの中には、道路工事に興味を持ち、写真を撮ったり、2月に行われた「学習発表会」で、北千葉道路のことを取り上げて学習成果を発表していました。



土のうづくり体験



学習発表会

成田新高速鉄道（成田スカイアクセス）と北千葉道路が北印旛沼を渡ることにより、その周辺にすむ湿地性希少鳥類に影響を与える可能性があることから、鳥たちのすみかとして「北須賀工区」と「大竹工区」の2箇所新たなヨシ原の造成を行っています。

両工区とも、ヨシは順調に生育しています。適正なヨシ原育成を検討する「印旛沼ヨシ原の順応的管理に関する検討会」では、「育てること」から今後は、「ヨシ原が人の手を借りないで“自然に育つこと”を目指した検討が重ねられています。

印旛沼周辺の生物⑤

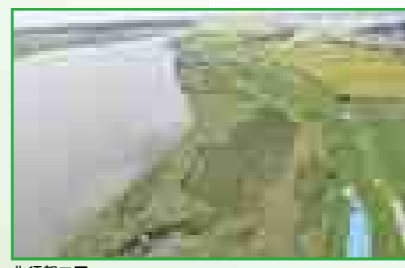
チュウヒ



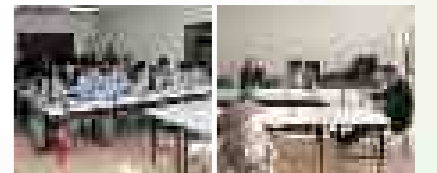
アジア東部から越冬のため日本に来る鳥。ヨシ原に住み、両翼を浅いVの字に開き、羽ばたきを繰り返して飛び、

撮影：浅野俊雄氏

造成したヨシ原



北須賀工区



検討会（平成24年11月）



大竹工区

成田スカイアクセス

成田新高速鉄道（成田スカイアクセス）は、平成22年7月の開業以来、成田国際空港へのアクセスや地域を結ぶ主要な交通として重要な役割を担っています。北千葉道路と並行して東京都市心と成田国際空港を30分台で結ぶスカイライナーは、1日上下線合わせて54本が運行されています。



インフォメーションセンターには、成田新高速鉄道（成田スカイアクセス）と北千葉道路の事業概要、成田湯川駅や印旛沼渡河橋の模型、発掘された埋蔵文化財などを展示しています。是非お立ち寄り下さい。



成田新高速鉄道・北千葉道路 インフォメーションセンター
（成田市北須賀1622-2 印旛沼漁業協同組合内会議室） 開館時間 9:00～17:00 木曜日休館
北千葉道路建設事務所
※北千葉道路ニュースvol.1～vol.4が閲覧できます。 <http://www.pref.chiba.lg.jp/kitachi-do/>

北千葉道路は、北印旛沼を渡ると共に、北印旛沼と西印旛沼を結ぶ印旛捷水路を渡ります。この印旛捷水路橋は、完成すると、橋長約600mになります。現在は、橋を支える橋脚の工事が進み、いよいよ橋桁の架設が始まりました。

（二二部分が北千葉道路） ※橋梁名は仮称



約600m

平成25年2月

印旛捷水路を渡る北千葉道路